



ちゅうおう

～学校教育目標～

- よく考える子
- 心の豊かな子
- じょうぶな子

United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

Member of

UNESCO
Associated
Schools

蓮田市立蓮田中央小学校 TEL048-768-0073

HP : <https://fa.fureai-cloud.jp/hasudachuo-e/>

非常災害時の対応

9月1日は「防災の日」です。この日は関東大震災が発生した日であり、台風シーズンを迎える時期でもあることから、防災への心構えを準備するという意味で「防災の日」が創設されました。また、「防災の日」を含む一週間は防災週間と定められ、防災に関する様々な訓練が行われます。蓮田中央小学校においても、避難訓練を計画的に行っています。

14年前の東日本大震災のときは、私は春日部市の小学校の教務主任でした。5時間目が終わった直後に大きな揺れがあり、全校児童は校庭に避難しました。私は、低学年の下校指導のため中庭に出ようとしたところだったのですが、中庭の池の水が激しい揺れのためザブンザブンと溢れていた様子を今でも覚えています。全員の無事が確認され、校舎の破損がないことが確認できたため、教室に戻り荷物を持ってもう一度校庭に集まることとなりました。引き渡しとなり、保護者に一斉配信メールを送りました。余震が続いたため体育館は危険と判断し、校庭での引き渡しとなりましたが、途中で雨が降ったり、メール配信が届かなくてお迎えが遅くなったり（帰宅困難になったご家庭も多くありました）したため、学校に残った子供たちと不安な時間を過ごしたことを覚えています。全ての児童を引き渡すことができたのは夜の11時を過ぎていました。

この経験で改めて学んだことがあります。それは、本当の災害は起こることです。学校では避難訓練をはじめ、様々な訓練を行っています。この訓練に真剣に臨み、体で覚えることが大事だと実感しました。

私は、地域の消防団に23年間関わり、数年前に退団しました。その間、地域の防災訓練や、毎年行う操法訓練、出初式、歳末特別警戒等に参加させていただきました。実際の火事の現場や大雨による水害の現場にも何度も出動しました。

また、鴻巣市にある埼玉県消防学校で行われた防災研修では、東日本大震災の時に多くの消防団員が避難誘導や水門閉鎖作業のために命を落としていることを学びました。自分がそこまでできるか分かりませんが、団員の時は、「地域の安全・安全を守る」という気概で活動していました。消防団を退団した今、地域の安全・安心に関わるために何ができるか考えていたところ、「防災士」という役割があることを知りました。そこで、防災士としての活動やそこで得た知識は学校でも生かせると考え、3年ほど前に防災士の資格を申請し認定されました。防災士は、消防団分団長経験2年以上で資格を得ることができます。

災害はいつ起こるか分かりません。本校は、4月・5月に地震及び火災を想定した避難訓練を行いました。10月には地震を想定したショート避難訓練を行います。「防災の日」に今一度防災対策についても確認し、子供たちの健康・安全を確保するために今後も緊張感をもって取り組んでまいります。



9月の生活目標

「忘れ物をしないようにしよう」

いよいよ2学期が始まります。学校生活のリズムを再び取り戻し、充実した日々を迎えたいところです。そこで、「忘れ物をしない」という決意をきっかけに進めてみましょう。余裕のある前日に、持ち物をしっかり確認する。ご家庭でも見届けていただき、見通しをもって物事に取り組むことの大切さを話していただくと幸いです。

★★

